

「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

令和2年1月31日(金)発行

目次

- 1 令和元年台風19号による農林業被害について
- 2 会津農林事務所の取組紹介
- 3 イベント情報等
- 4 あいづ“まるごと”ネットからのお知らせ

1 令和元年台風19号による農林業被害について

令和元年10月12日に発生した台風19号により、会津地域では約7億6,400万円の農林業被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。当所は、被災箇所の復旧と被災者の生活再建に全力で取り組んでまいります。

農作物・農業等施設の被害状況

農作物被害は、会津地方の広範囲にわたり、強風による果樹の落果やそばの倒伏、冠水・土砂流入による水稲や花き等の被害により、計238ha、約3,279万円となりました。

農業等施設の被害は、強風による牛舎やパイプハウスの破損等、計73件、約741万円となりました。



(会津若松市北会津町 りんご落果)



(磐梯町 パイプハウス倒壊)



(金山町 水田への土砂流入)

農地・農業用施設の被害状況

農地・農業用施設の被害は、西部を中心に、大雨による農地や水路の損壊、河川の増水による揚水ポンプ設備の浸水や流下した土砂による取水堰の埋没等、計116件、5億6,100万円となりました。



(喜多方市 揚水ポンプ設備の浸水)



(会津坂下町 農道への土砂流出)

森林・林業関連施設の被害状況

林道の被害は、路肩崩壊や路面洗堀等により、計 61 箇所、約 1 億 4 千万円となりました。
また、森林等の被害については、昭和の森（猪苗代町）施設内のアカマツが倒伏等、計 4 か所で被害がありました。



(会津美里町 林道の路体流出)



(会津美里町 林道の路面洗堀)



(猪苗代町 昭和の森のアカマツ倒伏)

被災箇所の復旧に向けて

被災した農地・農業用施設については、今春の作付けに間に合うよう、順次復旧工事を進めます。
管内の林道施設については、12月2日から5日にかけて災害査定を受けました。今後は、施設を管理する市町村における予算の確保や復旧工事において適切な支援を行ってまいります。
また、森林等の被害についても、早急に復旧が図られるよう関係機関と連携し対応を進めてまいります。

2 会津農林事務所の取組紹介

「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動 会津地方推進本部意見交換会を開催しました！

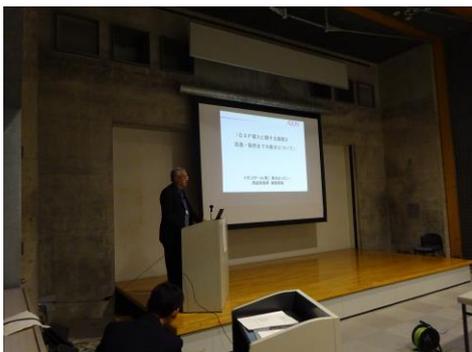
県では GAP (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理) の認知度向上と普及拡大に取り組んでおります。GAP のさらなる普及拡大を図るため、12月17日、県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターにおいて会津地方推進本部意見交換会を開催しました。

意見交換会に先立ち、「GAP 導入に関する基礎と流通・販売までの動きについて」をテーマに、イオンリテール(株)商品統括部 藤田郁雄様より基調講演をいただきました。

基調講演に引き続き、会津地域で GAP に取り組んでおられる会津美里町の(有)ごんべい代表の大竹久一様と、会津若松市の(株)ロジカルファーム代表の諏訪美江様より、GAP に取り組む中で得た成果と課題をお話いただきました。

意見交換会では、GAP の認知度がまだまだ不足し、消費者の理解が進んでいないことが課題としてあげられました。

今後は GAP の認知度向上に向けて、関係機関と協力しながら取り組んでまいります。



「第2回認証GAP研修会」を開催しました

11月20日、福島県農業共済組合会津支所において、会津地方におけるGAPの普及を一層進めることを目的として「第2回認証GAP研修会」を開催しました。

認証GAPの取得に当たり、生産者は法令を遵守しGAPに取り組む必要があります。そこで本研修会では、計量法、食品表示法、景品表示法、農薬取締法、消防法について、担当部所から説明を行いました。

また、GAP認証取得には、必要な技能講習の受講が求められているため、救命講習について会津若松消防署より、農作業安全について会津農林事務所より説明を行いました。

研修会にはGAP認証取得者や取得希望者、関係機関・団体等58名が参加し、うち27名が技能講習を受講しました。参加者からは、「必要な内容を一度に聴くことができた。」「救命講習が受講できてよかった。」等の声をいただきました。

今後も、引き続き認証GAPの推進のため、様々な研修会を企画し、会津地方のGAP認証取得の拡大を進めたいと考えています。



－救命講習の様子－

(農業振興普及部)

新規就農者等経営発展研修会を開催しました！

喜多方農業普及所では、12月5日に喜多方市と共催で、喜多方市役所会議室において、新規就農者や就農希望者、さらには定年帰農者等を対象として新規就農経営発展研修会を開催しました。

研修会では、農家の消費税法改正への対処や経営発展に向けた資金調達、新規就農者向け補助事業等の経営管理に関する研修が行われました。その他にも、農産物の流通や販売に関する講演が行われ、出席した皆さんは熱心に聴講されていました。

当普及所では、市町村や関係機関等と連携し、今後も新規就農者の確保と育成に取り組んでまいります。



－受講した新規就農者－



－講演の様子－

(喜多方農業普及所)

「高校生林業見学会」を実施しました

林業への若年層の就業促進のため、林業の現場や地元の特色ある産業に関する情報を提供する「高校生林業見学会」を森林林業部主催で実施しました。11月13日に耶麻農業高校産業技術科1年生14名が会津管内の生産者を訪問し、11月19日に会津農林高校森林環境科2年生15名が田村市の田村森林組合を見学しました。

耶麻農業高校はスギコンテナ苗生産過程の1つであるコンテナへの植替え体験や折りたたみ椅子の製作、菌床しいたけ栽培施設で、しいたけを収穫したり、様々な「林業」を体験しました。



－スギコンテナ苗植替え体験－

会津農林高校は高性能林業機械を用いた伐採及び作業道開設の現場や製材工場を見学し、山に生えている木がどのようにして伐採され製品として出荷されるのか、その過程を学びました。

生徒からは、「普段なかなか目にすることのできないものが見られた。とても貴重な体験だった。」という声が挙がりました。



－田村森林組合製材工場見学－

今回の見学会を通して、「林業」とは木を伐るだけでなく、木材の加工やきのご等林産物の生産など、多岐に渡る分野であると伝えることができました。見学会をきっかけに林業に少しでも興味を持っていただき、将来の仕事の選択肢に考えてもらえることを期待します。

(森林林業部)

扇ヶ峰牧野が閉牧しました！

喜多方市塩川町の扇ヶ峰牧野は、平成29年度に草地の除染（更新）が行われ、モニタリング検査による牧草の安全性が確認されたことから、平成30年6月に7年ぶりに放牧が再開されました。今年度は4月17日から放牧が実施され、11月1日に放牧牛達は名残惜しそうに広大な放牧地を後にしました。

なお、今年度は、開牧時期を早めたことや昨年の冬に実施した放牧利用意向調査の効果もあり、20頭でスタートを切り、放牧期間中の放牧延べ頭数でも前年対比200%を達成することができ、大きな事故もなく無事に閉牧することができました。

閉牧後、降雪に備え牧柵の有刺鉄線を外し、地面に落とす作業や除草剤によるギシギシやアザミ等の雑草対策を行い、雪解けを待ちます。

来年度は、放牧再開3年目となりますが、早い時期に開牧できるよう、引き続き支援してまいります。



－名残惜しそうな牛達－

(喜多方農業普及所)

3 イベント情報等

『楽しく撮って広めたい！「あいづ“いいもの”」フォトコンテスト』
 & 『あいづ道の駅スタンプラリー』を開催しました！

☆多数の応募・投稿ありがとうございました☆

♪『農林水産加工品フォトコンテスト』受賞者発表♪

<p>素材活かしてで賞</p>	<p>ギフトしたくなるで賞</p>
<p>会津伝統野菜「館岩赤かぶ」の三五八漬け</p>  <p>応募者：roco.sato さん</p>	<p>金山赤かぼちゃプディング</p>  <p>応募者：maki._.san さん</p>
<p>グッド料理賞</p>	<p>匠賞</p>
<p>ブルーベリージャムとクリームチーズの アイスクャンディー</p>  <p>応募者：anetakast さん</p>	<p>飛露喜</p>  <p>応募者：sweet.440 さん</p>
<p>楽飯賞</p>	<p>Instagramフォトコン： https://www.instagram.com/aiduiimono/ おかげさまでフォロワー数 1,150 人を超えました。 （1月 28 日現在） 令和 2 年度も開催予定ですので、ぜひ！自社商品の自薦もご投稿ください♪ 投稿内容は「#(ハッシュタグ)あいづいいもの 2019(2018)」で検索してみてください★</p>
<p>打ち豆で炊き込み御飯</p>  <p>応募者：kikuden8568 さん</p>	

♪『あいづ道の駅スタンプラリー』について♪

スタンプコンプリート者多数のため抽選となりました。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

(企画部)

6次化商品販売会～「会津の市」地元特産品フェア～を開催します！

令和元年度会津地方6次化商品づくり支援事業において、2回にわたる検討会議を経て改良された商品をはじめ、会津地方の特色ある6次化商品について、消費者ニーズを踏まえたさらなる商品改良やリピーターの獲得を目指すため、販売会を行います。ぜひお越しください。

日時：2月1日（土）、2日（日）10:00～18:00

場所：アピタ会津若松店・1F 催事場（会津若松市幕内南町9-10）

内容：6次化商品の販売、試飲・試食、昭和村からむし糸巻きアクセサリーの手づくり体験
また、1,000円以上お買い上げ毎に1回、6次化商品などが当たる抽選会も開催します。

○出展事業者一覧（順不同）

- ・弥七農園（会津若松市）・ぴかりん村（会津若松市）・民宿やまかのうや（只見町）
- ・笹屋皆川製菓（下郷町）・黒米味噌本舗（西会津町）・（株）山内農林（喜多方市）
- ・（株）キノコハウス（西会津町）・（株）奥会津昭和村振興公社（昭和村）
- ・（株）食農価値創造研究舎（南会津町）

（企画部）

4 あいづ“まるごと”ネットからのお知らせ



会津地方の6次化ネットワーク、あいづ“まるごと”ネットでは、会津・南会津の地域産業を活性化させるために、農林水産加工品（地域産業6次化商品）づくりに取り組まれている方々を支援しております。農林水産業に携わる方だけでなく、製造・小売・飲食・観光・消費者等、地域を超えた様々な人々の交流を図るため、交流会の開催や販売会情報の情報提供などを行っています。

☆会員のお申込みはこちらから↓

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/aizumarugotonet-6.html>

あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました。

11月19日、県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターにおいて、あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました。今回は、株式会社タンク 代表取締役 増田 紀彦様をお招きし、6次化商品づくりに取り組んでいる事業者の抱える課題についてグループディスカッションを行いました。

参加した方からは「自分だけでは全く思いつかない提案が多く、さらに改善出来そう」、「作り手と買い手の考え方の違いが分かる交流会だった」といった感想があり、より良い商品づくりに期待を膨らませていました。

なお、今回の交流会に参加された事業者の商品の一部は、2月1日（土）、2日（日）にアピタ会津若松店で開催する地元特産品フェアで販売されます。



（企画部）

あいづ“まるごと”ネット第3回交流会を開催します！

今回のテーマは「地域ブランドの育て方」です。地域の農産物で作られた6次化商品を地域ブランドとして育てていくためには、まずは地元で愛され、商品力や発信力を高めて全国へと広がっていくことが重要です。そこで今回は、地元自慢の農産物を魅力ある商品に育て上げ、生産者と販売者が連携し一体となって“魅せて”いく事例を学びます。

日時：2月19日（水）13:30～15:30

場所：下郷ふれあいセンター・2階第1研修室（下郷町大字塩生字大石1000）

内容：「～地域ブランドを考える～みんなで育てる地域の強み」

① 13:40～14:25

基調講演－「Hot フルーツ！」（県北地方）ができるまで

講師：NPO 法人素材広場 理事長 横田純子氏、福島県県北農林事務所職員

② 14:35～15:15

試食及びグループワーク

☆参加申込は2月12日（水）まで

南会津農林事務所企画部（TEL:0241-62-5252 FAX:0241-62-5256）へお問い合わせください。

（企画部）

あいづ“まるごと”ネット会員の取組紹介

「キズナりんごジュース」について

令和元年6月5日、会津若松市大戸町南原では降雹（ひょう）の影響でりんごに傷がつく被害が出ました。そこで、「企業組合 ぴかりん村」さんが、生食では売れないりんごをジュースに加工され、とても美味しいジュースに生まれ変わりました。

〔お問い合わせ先〕

企業組合 ぴかりん村

（会津若松市北会津町下荒井字宮の東15-3）

TEL：0242-58-1050 FAX：0242-58-1053

購入をご希望の方はFAXでご注文ください。

価格は1本600円（税込・送料別）です。



【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局

（福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内）

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号（会津若松合同庁舎2階）

TEL (0242) 29-5369 FAX (0242) 29-5389

E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.